

子どもの本だな 92

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

しょうぼうしのくまさん

フィービ・ウォージントン、オリバー・ウィリアムス さく・え
こみや ゆう やく (福音館書店)

あるところに、消防士のくまさんが住んでいました。ある朝、木の上から降りられなくなった猫を助けてほしいという電話がかかってきました。くまさんは消防車に飛び乗ってその家に着くと、手袋をはめ、はしごを上り、猫を抱き下ろしました。奥さんも猫も大喜びです。

次の電話は、納屋の火事です！くまさんは大急ぎでかけつけ、池の中にホースをつっこみ、炎に向かって水をかけました。「しゅっしゅっしゅー！」無事に火は消えました。農家のおじさんは、お礼にかごいっぱい野菜と卵をくれました。

子どもたちに人気のくまさんシリーズの新刊。働き者のくまさんが、1日の終わりにおいしいものを食べてぐっすり眠る結末に満足します。細部まで描かれた柔らかい雰囲気絵と、簡潔でわかりやすいストーリーは、幼い子どもたちにぴったりです。読んでもらえば2〜3歳くらいから。

(池田)

この湖にボート禁止

トリース 作 田中 明子 訳
(学習研究社)

ビルは、思いがけない遺言で田舎の別荘を譲り受け、母と妹と都会から移り住みました。

別荘の前には湖があり、ビル兄妹はボートで小さな島を目指しました。ところが、地主のアルフレッド卿に湖でボートに乗ることを禁止されました。卿は地所の森にも人を近づけません。不審に思った兄妹は卿の周辺を探り始め、卿が9世紀に隠された修道院の宝物を見つけ出し、骨董商に売ろうとしていることを知りました。ある日、ビルたちは航空写真に写った湖の小島に不自然な場所があることに気がつき、友だちに借りたカヌーで島に向かいました。

卿の周辺を探るビルたちの出会う事件や日常が、ビルの語りで生き生きと描き出されます。早朝、ひそかに島に渡り、宝物を掘り出したビルたちの緊張感、喜びがともに味わえます。12歳から楽しめます。

(竹内)

7月	8月	7・8月の移動図書館 (いずれも木曜日です)				
8日	5日	塚森 地域内 10:30~ 10:50	沖代 地域内 11:00~ 11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~ 14:50	米田 公会堂 15:00~ 15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
15日	12日			原池団地 公民館 15:00~ 15:20	山田 掲示板前 15:30~ 15:50	原 太田東地区 農村交流センター 16:00~16:20
22日	19日	広坂 公民館 10:30~ 10:50	上太田 公民館 11:00~ 11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30~ 15:50	吉福 公民館 16:00~16:20

<お知らせ>
なつや de 文化村
2021年8月7日(土)開催

●絵本の時間
・時間：1回目 14:00~ (各回20分程度)
2回目 15:00~
・場所：図書館 おはなしの部屋
・対象：2〜3歳の子どもと保護者

●紙バッグ工作教室
・時間：1回目 10:45~ (各回30分程度)
2回目 11:15~
・場所：太子町立図書館 児童室
・対象：小学生以上 (要申込)
・定員：各回1組 (1組は1〜3名)
※定員になり次第締め切ります。

他にも、文化会館で歴史講演会や人形劇などがあります。詳しくは図書館または図書館ホームページへ。

『コリシの言葉 南ア代表黒人初の主将、ワンチームの魂』 石原 孝 著

さくら舎 183頁 2021年3月刊 1,500円 (請求記号) 783.4

2019年のラグビーワールドカップでは、日本がベスト8に進出し、大きな盛り上がりを見せた。この大会で優勝したのは、日本を準々決勝で破った南アフリカである。代表チームで黒人初の主将シヤ・コリシは、優勝後のインタビューで、自国の問題とそれに立ち向かうことの大切さを訴えた。

1948年、南アフリカで白人を優遇するアパルトヘイト政策が確立して以来、黒人への差別が深刻化した。生活区域の指定、教育や収入の格差、結婚の制限など、あらゆる権利がはく奪された。そのような時代においてラグビーは、白人のスポーツとされ、代表チームの愛称「スプリングボクス」の名は、黒人差別の象徴にまでなった。しかし、「ソウエト蜂起」をきっかけに、アパルトヘイト政策の根幹をなす法律が廃止され、1994年にはマンデラが黒人初の大統領に就任する。その翌年に国内で開催されたワールドカップでマンデラは、全国民にスプリングボクスへの応援を呼びかけ、ラグビーを団結の象徴とした。チームは見事に優勝を果たし、国中が新しい時代への期待感で包まれた。

ところが、アパルトヘイト撤廃から30年近く経つ現代においても、南アフリカには、差別や貧困などの社会問題が残り続けている。コリシも幼少期を貧困に苦しめられた一人である。経済的に恵まれない家庭に生まれ、毎日の食事もままならず、時には近所の人から食べ物も分けてもらうこともあった。雨漏りが頻繁に起こる家に暮らし、電気代も払えない状況だったので、学校の宿題は外灯の下でこなししていた。そんな彼が地元ラグビーチームに入り、12歳の時に転機が訪れる。将来性のある選手として、地元の名門校にスカウトされ、ついにはスプリングボクスの主将にまで上り詰める。コリシは、南アフリカの現状に対して、ワールドカップ優勝と自身のルーツを重ねて、「一つにまとまれば、我々はなんだって成し遂げられる」と語る。

1995年のワールドカップで、国民の団結と融和が成し遂げられ、2019年には、国民が人種に関係なくスプリングボクスを応援し、優勝に歓喜した。スポーツには、人々に希望を与え、社会問題に立ち向かう力があると強く感じた。

(光藤)

7月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

* ×印は休館日 (閉館時は返却ポストをご利用ください。)
 (7/26、8/11は祝日の振替、7/30、8/30は館内整理日)
 * 開館時間は10:00~18:00、金曜日は20:00まで開館

<お知らせ>

●13歳からの読書会

『時の旅人』を読んで

(アリソン・アトリー 作 岩波書店)

- ・日時: 8月8日(日) 14:00~15:30
- ・場所: 太子町立文化会館 会議室
- ・対象: 中学生以上 (要申込)
- ・準備: 当日までに本を読んできてください。
- ・申込: 太子町立図書館
- ※詳しくは太子町立図書館まで。または、図書館ホームページをご覧ください。

地下水

エリック・カールの「はらぺこあおむし」を折り紙で作って児童室の棚に置いた。やってきた常連の兄弟が手に取って伸ばしたり縮めたり。弟のA君が「ほしい」と一言。次の日、図書館の事を調べる兄R君について再びやってきたA君をさそって「あおむし」作りをした。作業を始めると、いつものやんちゃぶりはどこへやら、一生懸命折り紙を折っていく。児童室の奥ではR君が館長に色々質問をしている。その声を聞きながら、折ったパーツを組み立てて顔をつける。「あおむし」が出来上がった。自分で作ったものは格別らしく、A君はとても嬉しそうに質問の終わったR君に見せに行っていた。

毎週土曜日のおはなしの時間でも普段と違う顔を見せる子がいる。今回はA君の違う一面に出会ったうれしい時間だった。ちなみにR君の課題は「仕事の工夫を調べる」。大好きな図書館の事を調べたいとやってきたのだった。それもまたうれしいことだ。

(西村)